川柳の部

者 作 品

選選

二い助沈気こ

高の

猫明

まに

ま懸

1

て気日

4

な

 \succeq

花

15

う

人

満向

訣 明

ん生

1= 11

言い るう笑

顏

め

先 軽

武鬼武 頭藤

しず伶

末 子江デの用紙は事生紙を使用しています

かのき 秘

の合がく不

共めて

口 け界

ユ

大小河綛川溝平西福

森池合井面口松川田

子子彦弘夫英子江春兵

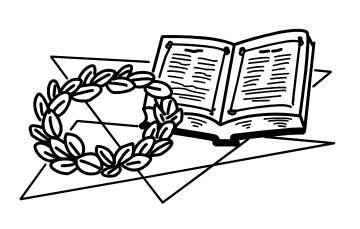
作

「三のわ密く た避 ハかはて 冬 籠 和

はオ

としりピ 1) 7

と見る



第七十一回

倦已短詩型文学展











後主とこ

港区区政協力委員協議会名古屋市港育委員会名古屋市港区役所講堂名古屋市港区役所建立名时一个人人工。

(金)(金)(分

ロのみ午後三時か十一月十六日

ま(目)

逸

を挿

見し

て木

来い

清たく

選選

ハ物ど

キわか

ンぬら

グか

証

自言胡

分者弓

にとの

驚し音

くて色

く沿哀

ていし

くにげ

銃

少彈八

しの尾

つと町

かに

ず争風

笑 跡 盆

渡川中

久

遺の

舞

れ戦

顏

へ

ピ

ス

あの

な

て川

Y

 \bigcirc

イ言

作

ク感

ナに書

日

を

ま又

せりいョ

大いひナ

静忘

和軽

のな 落るム

をとナ跳

()

平靴の食夢

楽

L き

む 思

ゲた

よ

1) 出 15

1)

命し見

示せ書チベ

て花自

は火分

のも消をのく

ウ五献熱飛さ石戻

ラフをまよゆは梅

つ飛

立田べさ垣り

りべの何

夢

跳

バベの

けれ暮二ばれ夢陰

してら人必得かに

しでず

1)

てたにらか枝

l)

Y

か

袓

てコ跳父て花

な時

を

愛 城 鉢

べ忘の木

ず

L

べ叶てびぶ

しりは十影ど

う六のみ

ず余かり

谷西高

主の

忍並

者 作 品 山 中 墳 秘 X を l) 穴

惑 1)

天

動

選選

か二雷

た階走

つまる

届 \bigcirc

なミ脈

にザ若

かのマ

明

大柘中

む で

()

せく

かモ

()

を花

のか

1)

7

1)

3

 \bigcirc

こ夏傘な ょすの 店 揺 のれ 軒る 下向 にんのに 子

だ

う

藍 染いの吊の 人にめのちる花 のぼ りう 日 風ひ VI B るっひ ば 木せるいと きし ИÞ 行れた くての VI L るそ

鳥雷 と鳴 命泣 < り子 添 抱 うき 守 柿抱回 8 3

作

面ま等回打れ道至 ち路のの 有何我だ風夜を濡 活が てに撞 大 夜 での秋雨花 ま秋の *(*)

時

 \bigcirc

話

葉はり と船 \bigcirc 時の美 のど 父 供 蟻 \bigcirc \bigcirc イ列 2

舞

,;,

A

4

 \bigcirc

あ

とかなばば夏こちか夏ささこ爽ナ老年揺釈小川墓子何波別畔夏 うやイー老れ蝶さ いつのののきののつみららえかス人ひ戻のきにい嫁 てる ョ家 木ッ路 昼 力 寝 に渡 月 た l) 決とびり っ来 8 た るてつび 仰 7 日桜 のやひ Q て好 天 H

L

んみむち花花たぼ日むにんんんやシ りにりはぼぼで ビみはばふまお々トに っあたる 6 がル < っちきたのなぱば でののな 7 うんいさくケううかあ 5 ちなんじー ま くいて風ぐ よキに うう なおか音 つのと かかゆひだよしおくっまらいが っらてねいよっかるんしさ ないたっんでいし でよただるよた

けたつららがいちた休くく

Ĺ

うお赤む

せいにで

をわ

よよりらる

とと

<

7

花

そだれ

7

早

4 太お す足舛し林石服江石出藤花高中木栗西古大増高 ね ぎ 田 ず まだ 立 岡 部崎田原井井坂山村原川田 0 ゃ 紀久 す美り杏くる要洋久元裕恵知 ż い月お子みな子子江理子子子子江子春子子介子

綛 宮 森青山島豊 山 岡田 ま 恵望 理 英

夫子み奈莉絵子

喜 レ 久]]] 田 入本川岸 辺 面 保 ナ あ 初伶 英 裕房 夢 得 頭 千 直 健 ż t フシーの用紙は要生紙を使用しています。 ひ子治 矢

選者作品

倉地

亮 子